

第4回公共交通で暮らしやすい未来を実現するPTメンバー意見概要

○開始日時：2024年12月23日（月）13:00～15:00

○議題1) 第3回PT以降の経過報告

～事務局より説明～

（連合島根_丸山委員）

- ・日本版ライドシェアについて、松江ではタクシーの遊休車両使用、予約はアプリでなく電話とのことだが、2種要件を飛び越えていく法的な根拠はあるのか？規制緩和が進んでいると思うが、安全面で心配はないか？

⇒（島根運輸支局_鬼村首席）

- ・運転手不足、事業者も少なくなっており、交通空白が生まれている。交通空白は地域的な側面と時間的な側面がある。日本版ライドシェアは時間的な交通空白を埋めることを目的としている。
- ・国からの通達にあるとおり、事前に料金&ルートが決定する仕組み。安全管理や保険面は運行事業者により担保されると考えている。
- ・今年4月から実証運行が始まっているが、大きなトラブルはないと承知している。

⇒（事務局）

- ・「事前料金確定」がポイントであり、通常のタクシー事業との違いだと思っている。松江では予約時、事前料金確定にあたり、アプリではなく従来の電話予約を選択したところ。

⇒（連合島根_丸山）

- ・担い手側の意見としては、日本版ライドシェアには反対だが、利便性を損なわず、交通弱者を生まないことが必要。
- ・誰がやっても同じサービスが提供できる仕組みづくりが必要。

○議題2) 今後のスケジュール、議題3) 交通体系再編の考え方について

～事務局より説明～

（公民館長会_三宅会長）

- ・スケジュールについて、今の市交通政策課の人員では無理ではないか？これを全部やろうと思うと相当厳しいのではないかと感じる。まずは体制強化が必要。
- ・ライドシェアについて、従来のもの（事業者がパートを雇い、運転手を確保し報酬を支払う）と何ら変わっていないと感じた。利用者にとって、を考えてほしい。
- ・ゴールを明確にする必要がある。ゴールが明確になることで、各WGでの議論内容も明確化される。

(松江高専_三谷先生)

- ・今後のスケジュールについて提示されたことは良いことだと思う。今年度こういった形・手順でかたちにしていくかを考えてほしい。
- ・ご紹介いただいたとおり、AI デマンドバスの導入指針について検討中。コストも含めて、このサービスの位置づけをまとめたい。
- ・自動運転について、郊外部での実証は難しい面があると思っていたが、市中心部ということで地元の利用+観光利用も想定されるので、面白いと感じた。ただ、実装となった時のコストなどもしっかり検討すること。のちのちの重しとならないように・・・。

(松江市教育委員会_原田教育委員)

- ・本 PT は、各交通事業者が一堂に会している。そのメリットとして、各公共交通の役割分担を明確にし、各分野でできることは何か考えて毎回同じ議論にならないようにされたい。
- ・AI デマンドバスは小学生の通学の時間帯は定時定路線にするなど工夫があればありがたい。
- ・定時定路線についても、朝などある程度需要がまとまって確認できるものは、中間のバス停を省略したノンストップ便も検討いただきたい。
- ・日本版ライドシェアは TV 報道等では登録運転者目線で報道されていて、登録運転者としての安心感があったのだが、今日は事業者目線での説明であり、見方が異なると感じた。

(呉高専_神田先生)

- ・自動運転は魔法の交通手段ではないとの認識が必要。人手不足対策など交通の面だけでなく、地域経済への貢献度にフォーカスを充てて、どのような効果が発現し得るのかを広く考えておくべき。
- ・また社会実装段階で、コストがかかって今後どうする?といった問題が必ず出てくる。関連事業者にだけお金がまわるようなことにならないように準備をされたい。

松江市で実施する意味は?を走らせる前からフォーカスすべき。自動運転によりもたらされるものを考えて。

- ・日本版ライドシェアの運用は非常に難しい。庄原でナイトタイムの交通手段確保の取組みに参画しているが、人を乗せて運転するということは、非常にプレッシャーのかかる仕事だと痛感している。この PT のメンバーも実際ライドシェアドライバー体験するぐらいの覚悟が必要。
- ・AI デマンドバスは定時定路線のコミュニティバスと運賃は同じでいいのか、と感じる。庄原のナイトタイム対策では、運賃的にはもっと払ってもよいといった意見が出ている。良いサービスであれば、それなりの運賃設定でもよいと思う。

不便を便利にしていることからもっと運賃をとってもいいと感じる。

- ・高校生の通学については、運行時間だけでなく、駐輪場などの環境整備の視点も大事。
- ・バス運転手の仕業について、しっかり稼ぐためにはバッファを持った人数が必要。
また対策として、退職を出さない取り組みも重要。そういった観点では、職場環境の整備も重要な未来への投資。将来へのストックとして支出すべき。

(島根大学_飯野先生)

- ・課題の整理はできたと感じる。

- ・路線バスの再編とコミュニティバスの再編のスケジュールが一緒になっているが、別物であると思う。関連できるものは関連して。
- ・今後の見せ方としては、地域ごとのエリアカタログ作成が重要。この作成により地域の方に安心を与え、また様々な方面で協力者を増やしていくことにもつながる。
- ・タクシー事業者はもっと稼げるビジネスモデルをつくるのが必要。タクシーWG ではそういった観点でも議論いただきたい。
また、例えば美保関はタクシー事業者がいないので、ライドシェア実証の格好のエリアだと思う。
- ・立地適正化計画の改定もあるが、交通だけでなく、医療や介護など他分野との連携が当然必要。まちづくりの観点で交通を考えてほしい。

次回開催について

- ・本 PT の親会である「松江市公共交通利用促進市民会議」との合同開催として、3 月末で日程調整。